



弁護士も交え解決策を話し合う児童―さいたま市で

トラブル解決法 皆で考えよう

さいたま市立蓮沼小学校（見沼区蓮沼）で14日、埼玉弁護士会の弁護士7人を招き、6年生約130人が学校でのトラブル解決法を考える授業を行った。

身近なトラブルを話し合いで解決する「法」の原点を知ってもらおうと、同校と弁護士会が初めて企画した。

授業にあたっては、児童が事前に「悪口を注意することができない」「朝、学校でサッカーができるようにしたい」など、解決したい課題を

2008.2.15
東京新聞

さいたまの小学校
弁護士が出張授業

悪口注意できない、サッカーしたい…

用意。それぞれの課題ごとに4～7人のグループに分かれ、自分たちの経験や問題が起こった原因などを話し合った。

弁護士はアドバイス役に徹し、最後は解決策を児童一人一人が考えた。

授業に参加した日比絹子さん(12)は「悪口を注意すると、ほかの人から悪く思われると思っていたけど、皆で協力すれば、そんなことはないと思った」と話した。

(橋本綾香)